

～ 発信します。利根川ダム群の水情報！ ～

令和5年4月10日

矢木沢ダム

撮影日：R5. 4. 6



(独)水資源機構

奈良俣ダム

撮影日：R5. 4. 6



(独)水資源機構

藪原ダム

撮影日：R5. 4. 4



国土交通省

相俣ダム

撮影日：R5. 4. 3



国土交通省

藤原ダム

撮影日：R5. 4. 3



国土交通省

草木ダム

撮影日：R4. 4. 10



(独)水資源機構

ハツ場ダム

撮影日：R5. 4. 4



国土交通省

下久保ダム

撮影日：R5. 4. 10



(独)水資源機構

渡良瀬貯水池

撮影日：R5. 4. 10



国土交通省

利根川ダム統合管理事務所では、限りある水資源を有効活用し安定した水利用を可能にするため、9つのダムを一体として運用する「統合管理」を行っております。

◇各ダムの位置図等の情報は以下のURLから確認できます◇

https://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/tonedamu_index001.html



国土交通省 利根川ダム統合管理事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

◇現在のダム運用

- 昨年末からの降水量は、2月末まで例年比約53%と少雨が続いていましたが、3月は纏まった降雨があったことから例年値を上回る結果となりました。
- 3月以降気温の高い日が多くなり、**ダム上流の雪解けが進んでいます**。雪解けと降雨の影響により河川流量が増加し、ダムへの流入量も増加傾向となり**貯水量は回復傾向です**。
- 4月10日時点の利根川上流ダム群の**貯水量は、約36,700万m³（貯水率67%）**と例年を上回る貯水量となっています。
- **各ダム流域の積雪は例年よりも雪解けが早く、消雪となった地点もあることから、高標高部に残っている積雪量**や雪解けの状況を注意深く観察しながら各ダム貯留に努めてまいります。
※相俣ダムは冬季の工事等に伴い、4月中旬頃まで水位を低い状況に保っています。
- 引き続き降雨の状況、ダム貯水量を注視し、**例年以上にきめ細やかなダム操作**を行ってまいります。

◇奥利根・吾妻流域の積雪状況

積雪の状況は、奥利根流域（矢木沢ダム流域、奈良俣・藤原ダム流域、相俣ダム流域、菌原ダム流域）と吾妻流域（ハッ場ダム流域）で確認を行っています。（下久保ダム、草木ダム、渡良瀬貯水池の流域は積雪量が少ないため行っておりません）

今シーズンの積雪深は、各流域とも

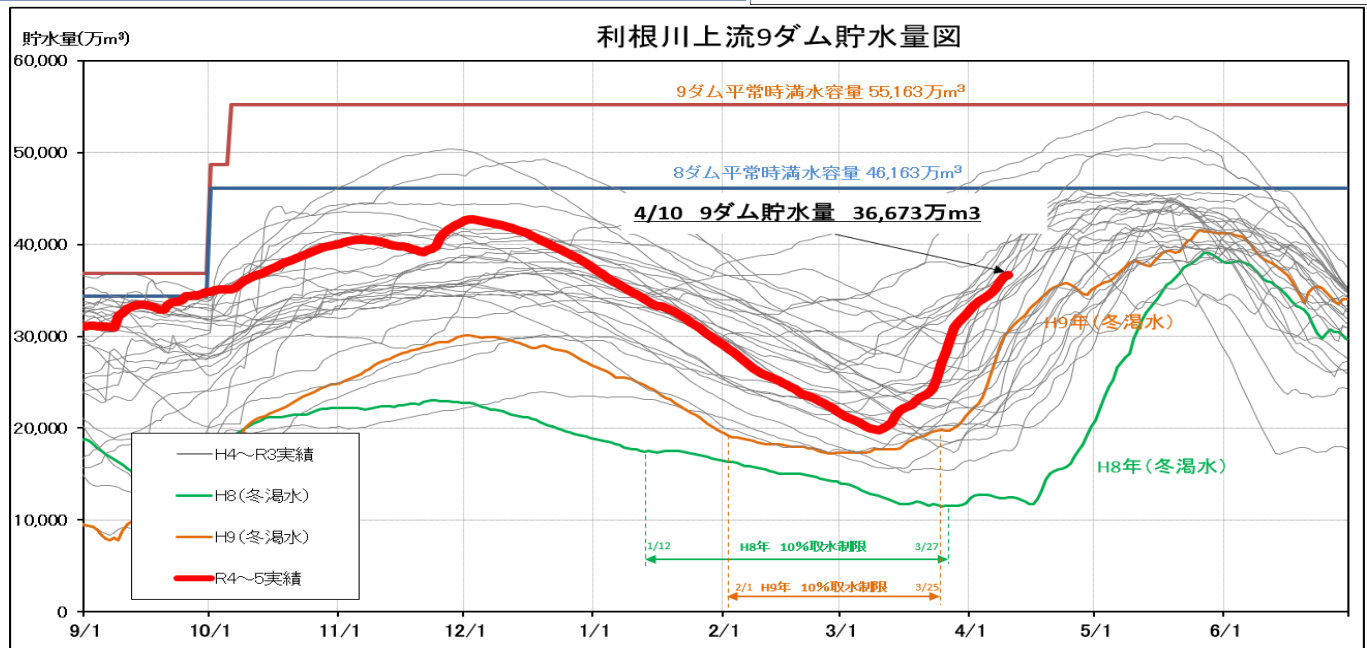
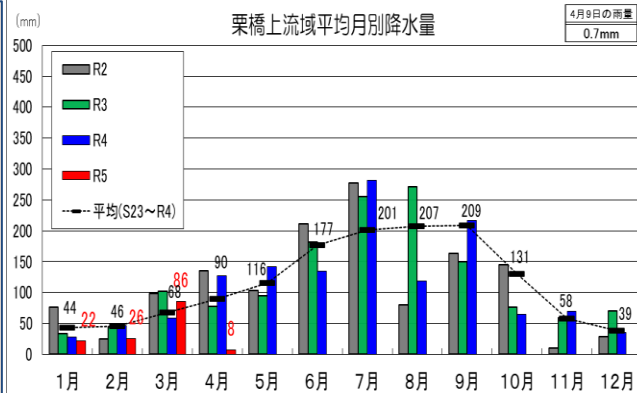
平均値と比べ少ない傾向となっています。

積雪情報（矢木沢、奈良俣、藤原、菌原流域のデータ）は以下のURLから見るができます。

<利根川上流積雪状況>

<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/teikyo/realtime2/E015050.html>

◇栗橋上流域平均月別降水量



◇ハッ場ダムがあることで

利根川上流に位置するハッ場ダムは、令和2年3月に完成し、同年4月から管理を開始しています。

利根川上流ダム群にハッ場ダムが加わったことにより、これまでの8ダム体制から9ダム体制になりました。

このため上流ダム群の利水容量は9,000万m³増加し、トータル55,163万m³と貯められる水の量が大幅に増加しました。

しかしながら、少雨によって利根川上流ダム群の貯水量は、3月上旬には約19,800万m³まで低下しており、もしハッ場ダムが完成していなかったら、更に貯水量が少なくなっていたと想定されます。

その場合、平成9年の冬渇水と同様に取水制限を開始した可能性もあり、ハッ場ダムの効果は非常に大きなものとなっています。

今後は雪解けの水を貯留し、貯水量が回復していく見込みです。

ハッ場ダムは、治水だけではなく水利用にも大きく貢献しています！

